

IX. エコーガイド下CVC挿入推進チーム



エコーガイド下CVC推進チームは、安全なCVC挿入を目的に2010年から活動を行っている。

2024年度は、インストラクターとして医師15名（麻酔科・疼痛制御科、ICU、救命救急センター、血液内科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、消化管内科、炎症性腸疾患外科、下部消化管外科、泌尿器科）と、医療人育成研修センター看護師1名、医療安全管理部看護師2名・薬剤師1名のチームメンバーで活動を行った。講習会に関しては、2023年度から、講義をE-learning受講とし、開催時間の短縮を図った。講習は、5/28、6/6、10/22、31の計4回、シミュレーションセンターにて17時から19時の2時間でハンズオン・手技チェックを実施した。また、4/2に臨床初期研修医に対するハンズオン研修を実施し、総受講人数は91名であった。

モニタリングとして、CVC挿入時の合併症調査を実施した。延べ挿入数2404症例に対し、合併症は21症例（発生率0.9%）であった。更に認定医不在の場合には、チームメンバーが支援する体制を確立しており、2024年度は6件の挿入もしくは立ち合いの依頼があった。依頼診療科は、4科であった。

（うち2件はエコー下CVC挿入推進チームでは挿入困難と判断し、透視下での挿入を放射線科に依頼した。）

エコーガイド下中心静脈穿刺認定医の登録条件を満たした医師に対し、以下の認定証を発行した。

「エコーガイド下中心静脈カテーテル穿刺医師認定証」36名、「中心静脈カテーテル穿刺医師認定証」3名「PICCカテーテル穿刺医師認定証」15名。

また、2024年3月に中心静脈カテーテル挿入に関する医療事故スタンダードマニュアルを改訂し、CVC挿入前タイムアウト・挿入中・挿入後チェック表を作成した。2024年度はこのチェック表の使用状況の確認を行い、積極的な使用を促した。CVC講習会の際はミーティングを開催し、CVカテーテルに関するインシデント・アクシデントの共有・現状の問題点の把握に努めている。

IX-1 2024年度穿刺部位別合併症

(件)

区分	気胸	動脈穿刺	血腫	動脈穿刺腫	動脈カテーテル留置	カテーテル入迷	カテーテル先端位置不適切	その他	合計
内頸静脈		1	2			1	12		16
鎖骨下静脈									0
大腿静脈		1					1	2	4
その他			1						1
合計		2	3			1	13	2	21

IX-2 2024年度診療科別穿刺件数と合併症

区分	件数	合併症(件)	発生率(%)	区分	件数	合併症(件)	発生率(%)
循環器内科	136		0.0	乳腺・内分泌外科	1		0.0
血液内科	314	5	1.6	心臓血管外科	104		0.0
アレルギー・リウマチ内科	9	1	11.1	呼吸器外科	22		0.0
糖尿病・内分泌・代謝内科	7		0.0	整形外科	7		0.0
肝・胆・膵内科	4		0.0	形成外科	0		0.0
消化管内科	340	6	1.8	脳神経外科	39		0.0
呼吸器内科	10		0.0	皮膚科	4		0.0
脳神経内科	5		0.0	泌尿器科	25		0.0
腎・透析内科	66	1	1.5	産科婦人科	4		0.0
総合内科	0		0.0	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	9		0.0
小児科	18		0.0	放射線科	85	1	1.2
NICU・GCU	167		0.0	麻酔科・疼痛制御科	276	2	0.7
肝・胆・膵外科	126	2	1.6	歯科口腔外科	0		0.0
小児外科	5		0.0	ペインクリニック部	3		0.0
上部消化管外科	16		0.0	救命救急センター	204	3	1.5
下部消化管外科	68		0.0	精神科神経科	2		0.0
炎症性腸疾患外科	191		0.0	ICU	137		0.0
				合計	2,404	21	0.9